2025 年度

千葉大学医学部附属病院
看護師特定行為研修

受講者募集要項

千葉大学医学部附属病院

Ⅰ. 特定行為研修の理念と概要

1. 特定行為研修の理念

千葉大学医学部附属病院は、本学の関連部局と連携した高度実践的看護臨床教育を通して、地域医療の質向上を目指します。

地域で暮らすすべての人々が安心で質の高い医療サービスを受けられ、最後まで自分らしく生ききるよう、安心で安全な医療を提供でき、現場の役割モデルとなる看護師を育成することで、看護・医療の質向上につなげます。

2. 目標

特定行為に係る実践的な理解力､思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能を修得し、地域医療の中で医療専門職と協働しながら､患者の生命、生活の質向上に向けて活動できる実践能力を持つ看護師を育成します。

・地域医療の中で、臨床判断を行うことができる。
・特定行為を適切なタイミングに、倫理的、かつ安全に行うことができる。
・看護学的視点と医学的視点を融合した新たな役割の中から、多職種の専門性を尊重しチーム医療が円滑に働くように支援できる。
・特定行為を実施する過程において、看護学的視点と医学的視点を用いて対象者を全人的に理解し看護に反映することができる。
・医学的視点を学ぶことで、看護学的な視点との相違を理解し、看護専門職者としての専門性を発揮した看護過程が展開できる。

3. 特色

1）当院の特定行為研修は、特定行為を実施しながら地域で暮らす人々の生活を支援し、看取りまでの看護を展開する看護師を育成することを目標としています。そのことから、患者の回復過程に沿って、21 の特定行為区分を 4 つのプログラムに分類しています。

(1) クリティカルケア・プログラム
(2) リカバリーケア・プログラム
(3) コンフォートケア・プログラム
(4) ロングタームケア・プログラム

すべての特定行為区分を修了することにより、どのような行為に対しても、その場に応じた卓越した知識・技術・能力を発揮できるため、すべてのプログラムを受講することを推奨します。

また、 所属施設や受講者のニーズに合わせて、必要な特定行為区分を 1 科目から選択して受講することも可能です。例えば、厚生労働省が提示している領域別パッケージ研修も選択できます。

2）当院は大学病院として医療人の育成を行っている実績があり、経験豊富な医師・薬剤師・看護師がわかりやすく適切な指導を行います。

3）院内に設置されている千葉大学大学院医学研究院附属クリニカル・スキルズ・センター（CCSC）において、技能トレーニングやシミュレーショントレーニングが効果的に実施できます。

4. 研修内容と時間数

1）共通科目

共通科目は、特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目です。研修期間の目安は 4 月～8 月の約 5 か月間です。(200 時間程度の動画視聴と、1～2 週間に 1 日の集合研修)

共通科目	時間数
臨床病態生理学	30 時間
臨床推論	45 時間
フィジカルアセスメント	45 時間
臨床薬理学	45 時間
疾病・臨床病態概論	40 時間
医療安全学・特定行為実践	45 時間
合計時間数	**250 時間**

2）区分別科目

各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目です。研修期間の目安はいずれも 9 月～3 月の 7 か月を予定しています。(9 月～10 月に動画視聴と、技術演習等の集合研修および 10 月～3 月（24 週）の期間内に、クリティカルケア 15～17 週程度、コンフォートケア 7 週程度、リカバリーケア 12 週程度、ロングタームケア 10 週程度の実習を行います。)

(1) クリティカルケア・プログラム

特定行為区分 6 区分	時間数 （講義・演習）	特定行為 14 行為
循環器関連	21 時間	一時的ペースメーカの操作及び管理
		一時的ペースメーカリードの抜去
		経皮的心肺補助装置の操作及び管理
		大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整
心嚢ドレーン管理関連	9 時間	心嚢ドレーンの抜去
動脈血液ガス分析関連	14時間	直接動脈穿刺法による採血
		橈骨動脈ラインの確保
透析管理関連	12 時間	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理
感染に係る薬剤投与関連	30 時間	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与
循環動態に係る薬剤投与関連	29 時間	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整

		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整
		持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
		持続点滴中の利尿剤の投与量の調整
合計時間数	**115 時間**	＊左記時間数に筆記試験・実習時間が加わります

(2) **コンフォートケア・プログラム**

特定行為区分 4 区分	時間数 （講義・演習）	特定行為 7 行為
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9 時間	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16 時間	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
		脱水症状に対する輸液による補正
術後疼痛管理関連	8 時間	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	26 時間	抗けいれん剤の臨時の投与
		抗精神病薬の臨時の投与
		抗不安薬の臨時の投与
合計時間数	**59 時間**	＊左記時間数に筆記試験・実習時間が加わります

(3) **リカバリーケア・プログラム**

特定行為区分 7 区分	時間数 （講義・演習）	特定行為 11 行為
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	29 時間	侵襲的陽圧換気の設定の変更
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
		人工呼吸器からの離脱
胸腔ドレーン管理関連	13 時間	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更
		胸腔ドレーンの抜去
腹腔ドレーン管理関連	8 時間	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む）
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理） 関連	7 時間	中心静脈カテーテルの抜去
創部ドレーン管理関連	5 時間	創部ドレーンの抜去
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16 時間	インスリンの投与量の調整
皮膚損傷に係る薬剤投与関連	17 時間	抗癌剤その他の薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整
合計時間数	**95 時間**	＊左記時間数に筆記試験・実習時間が加わります

(4) ロングタームケア・プログラム

特定行為区分 4 区分	時間数 （講義・演習）	特定行為 6 行為
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8 時間	気管カニューレの交換
ろう孔管理関連	22 時間	胃ろうカテーテルもしくは腸ろうカテーテルまたは胃ろうボタンの交換
		膀胱ろうカテーテルの交換
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの管理）関連	8 時間	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
創傷管理関連	34 時間	褥瘡または慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
		創傷に対する陰圧閉鎖療法
合計時間数	**72 時間**	＊左記時間数に筆記試験・実習時間が加わります

※(1)～(4)のプログラムの他に、受講者の希望に応じて自由に科目を組み合わせることもできます。例えば、厚生労働省が提示している領域別パッケージ研修も選択できます。区分別科目単体で受講することもできます。（希望内容によっては、応募後に担当者から連絡させていただく場合がございます。）　問合せ：e-mail：byoin-kenshuu@office.chiba-u.jp（総務課総合医療教育係）

※区分別科目の実習について

主に当院で実習を行います。ただし、区分別科目によっては協力施設で実習する場合がございます。

≪協力施設　2024 年度実績≫

・呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連：総泉病院（千葉県千葉市）

・ろう孔管理関連：みはま病院（千葉県千葉市）、総泉病院（千葉県千葉市）

5. 定員

20 名

6. 研修期間

2025 年 4 月～2026 年 3 月（共通科目　約 5 か月、区分別科目　約 7 か月の計 1 年間）

7. 修了要件

共通科目、区分別科目を履修し、筆記試験、実技試験（OSCE）、実習の観察評価等の科目毎の合格を条件とします。修了認定は、関係指導者が審議の上、看護師特定行為研修管理委員会で行います。

Ⅱ. 出願手続き

1. 出願資格

1）看護師の免許を有すること
2）看護師の資格取得後、実務経験を有すること（応募時）
3）所属する機関の所属長の推薦を有すること（自薦不可）
4）研修優先で受講可能であること
5）特定行為研修を修了後、特定行為を通じて医療の発展及び社会貢献に寄与する意欲があること

2. 出願手順

(1) 当院ＨＰ総合医療教育研修センター「看護師特定行為研修 募集関連」の**出願フォームより出願調書、志望理由等を入力してください。**受講決定後の受講科目の変更は原則としてできません。
ホームページ　https://www.ho.chiba-u.ac.jp/chibauniv-resident/nurse/recruit.html

(2) **以下の書類を提出（郵送又は持参）してください。**
（必要書類はＨＰよりダウンロードしてください）

＜出願フォーム QR コード＞

①推薦書
②看護師免許証の写し
③審査料（20,000 円）の振込を証明する書類の写し
④既修得科目等履修免除申請書
※共通科目、区分別科目の一部について履修の免除を申請する方のみ提出。
※特定行為研修修了証の写しまたは修了見込証明書（任意様式）を添付

(注)郵送の場合は、下記宛に必ず「簡易書留郵便」とし、封筒の表に「特定行為研修出願書類在中」と朱書きで明記すること

(1)出願フォームから出願調書等の入力
↓
(2)必要書類の提出（郵送または持参）
↓
(1)(2)を出願期間内に終了
↓
出願手続き完了

＜提出先＞
〒260-8677　千葉市中央区亥鼻 1-8-1
千葉大学医学部附属病院　総務課総合医療教育係

※出願フォームからの入力データの送信は、出願期間内に行ってください。
※出願書類を持参する場合は、出願期間の土日祝日を除く午前 9 時～午後 5 時まで受け付けます。

3. 審査料および納付方法

1）審 査 料　20,000 円（消費税込）

2）納付期間　　出願期間内に審査料の支払いを行ってください。

3）振 込 先　　銀 行 名：千葉銀行(0134)　　ひまわり第一支店(302)

口座番号：2372047

受 取 人：千葉大学　チバダイガク

※ 振込依頼人名の前に「TK2025」と入れてください。

※ 振込手数料は受験者がご負担ください。

※ 一旦納付された審査料は返還しません。

Ⅲ. 選考審査について

1. 選考審査日程

項目	Ⅰ期	Ⅱ期（※）
出願期間	2024年11月18日㈪～2024年12月6日㈮	2025年2月28日㈮～2025年3月10日㈪
選考審査日	2024年12月20日㈮ 13時00分～	2025年3月中旬以降 ※詳細は別途案内
選考結果発表	2024年1月8日㈬	
受講料納付期間	2025年4月1日㈫）～2025年4月15日㈫	

（※）千葉大学大学院看護学研究科2月入試合格者で特定行為研修受講を希望する場合で、なお且つ選択区分別科目の実習受入れが可能な場合にのみ実施

2. 選考方法

書類審査及び面接審査（対面）を行います。

面接審査の詳細は、面接審査日の１週間前までにメールにてお知らせします。

面接会場　　千葉大学医学部附属病院又は医学系総合研究棟（医学部）会議室

（千葉市中央区亥鼻 1-8-1）

3. 選考結果発表

選考結果につきましては、ご本人様宛に簡易書留にて郵送いたします。

なお、電話、FAX、メール等により合否のお問い合わせの対応はいたしません。

Ⅳ. 受講手続きと納付金（受講料）について

1. 受講手続き

受講にあたり必要な書類は、審査結果通知書と一緒に送付します。

2. 納付金

1)受 講 料　共通科目　440,000 円

区分別科目	クリティカルケア・プログラム	528,000 円
	コンフォートケア・プログラム	284,000 円
	リカバリーケア・プログラム	487,000 円
	ロングタームケア・プログラム	325,000 円

【特定行為研修納付金】

※ 審査料および受講料はすべて消費税込の料金です。

※ 各区分別科目単体の受講料は右記 QR コードよりご参照ください。

※ 研修のための宿泊及び交通費等は実費負担となります。

※ 一旦納付された受講料は原則として返還しません。

Ⅵ. その他

1. 個人情報の取り扱いについて

千葉大学医学部附属病院の個人情報に関する基本方針に則り、個人情報の適切な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願および受講手続きにあたって提供していただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等に必要な業務に限り使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続きにより開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

2. 看護職賠償責任保険について

研修受講決定者には、2025 年 4 月 1 日時点で標記の保険への加入を義務づけます。研修開始後、標記の保険に加入していることが証明できるもの（HP の「加入状況確認」画面を印刷したもの等）を提出していただきます。

3. 感染症対策について

研修受講決定者には、臨地実習開始までに各種感染症に係る免疫確認をさせていただきます。研修開始後、別途案内いたします。

4. 給付金について

本院の特定行為研修は、厚生労働省 教育訓練給付制度（一般教育訓練給付）の対象講座です。
詳細については、厚生労働省ホームページで支給申請手続き等をご確認ください。

5. 本件に関するお問い合わせ

〒260-8677　千葉市中央区亥鼻 1-8-1
千葉大学医学部附属病院総務課総合医療教育係
電話：043－222－7171（代表）
e-mail：byoin-kenshuu@office.chiba-u.jp
https://www.ho.chiba-u.ac.jp/chibauniv-resident/nurse/index.html